

2023年11月1日

お客様 各位

株式会社宇部情報システム

## 当社データセンター耐震性能について

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当社が運営しているデータセンターの貸主にて保有設備の耐震診断を実施した結果、耐震性能について、ご案内しておりました耐震性能の「震度6強で倒壊する可能性は低いレベル」（別紙、貸主指標耐震性能ランク A）ではなく、「可能性があるレベル」（別紙、貸主指標耐震性能ランク B）という旨の報告がありました。

診断結果を受け、貸主側から耐震補強を行なう旨の説明があり、今年度中に耐震ランクを改善する予定となりました。

お客様には急なご案内となり、ご心配をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願いいたします。

なお、耐震性能ランク改善後は、当社としては、貸主と協議のうえ、耐震性能の維持を定期的に確認致します。

敬具

<別紙> (耐震性能ランク)

貸主指標		【参考】国交省告示	
耐震性能 ランク	条件	耐震診断の方法	
<b>2000年の耐震診断結果</b>			
A	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い $0.6 \cdot Z \leq I_s$	Ⅲ	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い $0.6 \cdot Z \leq I_s$
<b>2022年の再耐震診断結果</b>			
B	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある $0.4 \leq I_s < 0.6 \cdot Z$	Ⅱ	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある $0.3 \cdot Z \leq I_s < 0.6 \cdot Z$
C	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い $I_s < 0.4$	Ⅰ	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い $I_s < 0.3 \cdot Z$ 又は $CT \cdot SD < 0.15 \cdot Z$

【参考】

- ・耐震性能ランク A～C は、国交省のⅢ～Ⅰに連動した貸主側指標として整理されたものです。
- ・ $I_s$  値（構造耐震指標）とは、耐震診断の結果、建物の強度、形状、経年劣化の要因等から評価される建物の耐震性能を表す指標です。
- ・ $I_s$  値の評価については、「建築物の耐震改修の促進に関する法律（耐震改修促進法）」により、震度6強～7に達する程度の規模の地震に対し定められています。